

■文化会館(マドカホール)			時期	成果		0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。												3事業			
アートマルシェの開催(第11回子どものためのアートマルシェ)			8月	参加者 (内 体験者 291 160) 名		○	○		○	○	フォーム申込にしたことでより簡単に申込できるようになった。また、毎年参加される市民もあり、文化芸術に触れる機会の提供を担っているといえる。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。	A	A	A	B
幼児対象アウトリーチ事業(参加体験型演劇ワークショップ)			11月～12月	参加者 130 名		○					コロナ禍で、人との交流が少なくなり、子供たちの成長への影響を心配していた保育現場に非常に喜ばれた。感染症対策も考慮した企画で事業展開でき、子ども達の楽しそうな顔が見られたのは良かった。	A	A	—	A
インクルーシブコンサート事業			5/12(日)	入場者数 67 名		○	○		○	○	通常のコンサートと異なり、声を出したり踊ったりしてよいコンサートである。普段は周りへの配慮から「生」の音楽鑑賞する機会が少ない子どもと保護者から大変満足度が高かった。一方で、第一回の開催であったため、当日の進行等に関しては今後の改善が必要である。	A	S	C	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。												2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」 「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出			通年	指導者数 7 名			○			○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしてい ぎ、支援を続けていきたい。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」定期公演の開催 「岸和田市音楽団」定期公演の開催 「マドカドラマスクール」定期公演の開催			1/12(日) 11/24(日) 6/1(日)	入場者数 250 330 名 228			○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。												2事業			
第75回岸和田市市展／受賞作品展の開催			5月～7月  11月	入場者数 出品者数 251 名  入場者数 276 名						○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、募集要領の配布先を泉州地区を重点においた。	B	B	B	B

■文化会館(マドカホール)			時期	成果		0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
第37回マドカ合唱祭の開催			7/28(日)	入場者数	500 名		○			○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	B	B	A	B
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。											3事業				
第76回岸和田市文化祭の開催			9月～11月	入場者数	17,751 名	○	○		○	○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A	A	B	A
文化振興功労者表彰式			11/3(日)	入場者数	167 名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	A	B	A
文化の日祝典記念事業			11/3(日)	入場者数	74 名					○	アニメソングをメインとしたアニソンファミリーコンサートを実施した。入場者数は伸び悩んだものの、来場者には楽しんでいただくことができた。	B	A	C	A
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。											0事業				
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。											2事業				
芸術鑑賞事業の実施			通年		0 校		○				例年、利用校が1団体と少なかったが、コロナの影響もあり以降の利用がなかった。	C	-	-	C
チャレンジ支援事業			通年		4 件 2 校		○				本番に近い環境を整え、提供できた。ただ利用校は例年同じであり、来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体の参加をより促していきたい。	A	A	-	A
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。											0事業				

■文化会館(マドカホール)	時期	成果	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。								2事業			
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(4件)	通年	入場者数 466 名		○			○	自泉会館の活用促進事業として4事業を実施。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A
共催事業の実施(5件)	通年	入場者数 名					○	マドカホールを会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。								2事業			
アートマルシェの開催(第15回アートマルシェ)	3月	参加者 (内 体験者) 263 169) 名	○	○		○	○	年々定着してきており、リピーターも多い。チラシにQRコードを取り入れるなどして周知方法も工夫した。今後も広報に力を入れて、新規参加者を増やしていきたい。	B	A	B
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。								2事業			
3館合同事業 第九～市民とともに～	8～12月	参加者 入場者数 168 744 名		○	○	○	○	岸和田市にゆかりのある若手演奏家を中心とし、1部ではオーディションにて選抜されたピアニストによるピアノ協奏曲の演奏、2部では合唱団を公募した「第九」を実施。観覧チケットも完売となり、参加者からの満足度も高かった。	S	S	S
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。								1事業			
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市 青少年受入事業	6月	20 名					○	姉妹都市サウスサンフランシスコ市から青少年15名を含む訪問団を本市で受け入れ、本市のPRや同世代の両都市の青少年交流や市民団体との交流の実施、ホームステイを通じて異文化体験を行い、両都市の青少年の成長を感じる事業となった。引き続き、相互交流を継続していきたい。	S	-	S